

1 評価にあたって

沖縄県では、平成14年1月に県民の「早世の予防」、「健康寿命の延伸」、「生活の質の向上」を目的とする健康づくりの指針として「健康おきなわ2010」（平成13～22年度）を策定し県民一体の健康づくり運動に取り組んできました。

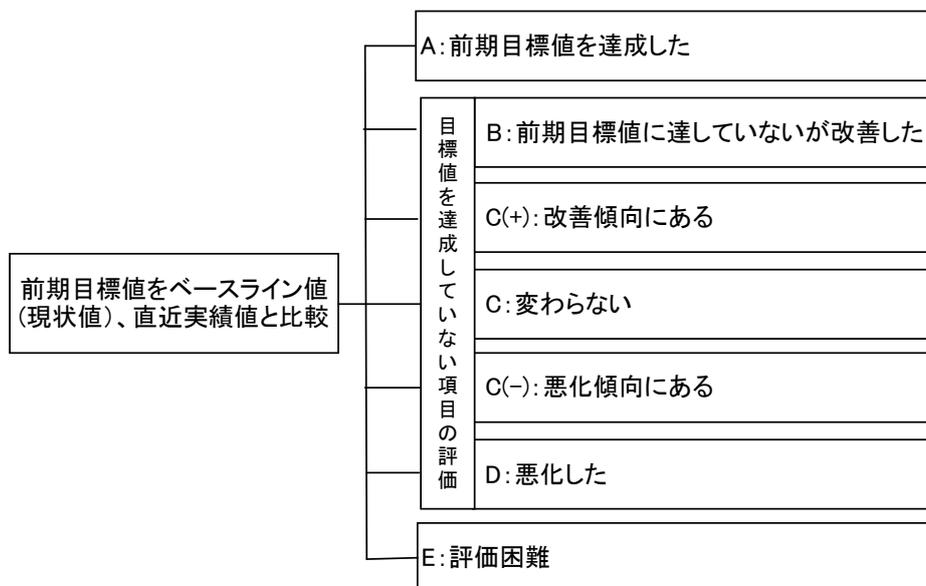
また、平成20年3月には、「健康おきなわ2010」の目的や基本的な考え方を引継ながら、長寿世界一復活に向けた21世紀における沖縄の行動計画として「健康おきなわ21」（平成20～29年度）へと改定し、また、健康増進法（平成15年5月施行）第8条に基づく本県の健康増進計画と位置づけ、健康づくり運動を推進してきました。

このようななか、前・後期5年とする行動計画の中間年に当たる平成24年度において、計画当初に設定した取組や目標値の達成状況について評価を行いました。

2 評価の方法

全体目標及び分野ごとの目標指標の評価は、国の研究班が示した「健康増進施策推進・評価のための健康・栄養調査データ活用マニュアル(2011年11月30日版)」に記載されているワークシートを活用し、ベースライン値(策定時の現状値)と直近実績値と比較し、分析評価を行いました。

分野ごとには、「指標の達成状況」、「指標に関連した主な事業の実施状況」、「今後の課題」をまとめました。



注：B(前期目標値に達していないが改善した)及びD(悪化した)については、5%有意水準で統計的有意差が認められた。C(+)(改善傾向にある)及びC(-)(悪化傾向にある)については、統計的な有意差は認められなかったが、一定の水準を超えた差を認めたことにより判定した。